
魔法少女まどか マギカ～異なる未来の改変物語～

リィーン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女まどか マギカ〜異なる未来の改変物語〜

【Nコード】

N6122Z

【作者名】

リイン

【あらすじ】

私は願う……………この新たな世界で、彼女を見つけたために、私は生きていく “魔女を滅ぼす概念” となった鹿目まどか。そして、その顛末を見届けた暁美ほむらの、その後を描くアフターストーリー！！ ほむらの他、マミさんにさやかに杏子の三人に加え、オリキヤラを含んだ、ハートフル(?) 熱血バトルストーリー(?!?) である！！ 注意 この小説には、“オリキヤラ” “チート” “原作介入” “原作ブレイク” “残酷描写” “メタ”、そして“重度の厨二”の要素が含まれています。それ

らが苦手、または毛嫌いしている方は見ない事を推奨します。より良い作品になるよう頑張りますので、どうかよろしくお願いします
さあ、物語を描こうか……………

ブログ 魔法少女は、夢と希望を叶えるんだから（前書き）

ええ、初めましての方は初めまして

そうでない方は、お待たせいたしました

いよいよ、私の妄想垂れ流しのまどマギ二次小説、始まります！！

色々つたない部分は多々あるかともいますが、そこは大目に見てください

では、どうぞ！！！！

プロローグ 魔法少女は、夢と希望を叶えるんだから

先ず、物語の終焉有りき……………

次ぎ、物語の再誕有り……………

さて、終焉せし物語とは、如何様な終りであつたのか…

……………

……………そこは、ただただ真つ白な世界だつた

上も下も分らない。ずっと、ただ白だけが続く世界……………

そこに私……………“ 暁美ほむら ”はいた。自分の大切な友達との、“

別れの時”を、過ごす為に……………

これで、よかったんだよ……………

「……………まど、か？」

彼女は、そう言った……………今は、姿形すら見えない友達の声は、ただ優しく、咽び泣く私を抱きしめるように……………私に、語りかけた

今の私はね、過去と未来の全てが見えるの。かつてあったかもしれない宇宙も、いつか有り得るかもしれない宇宙も、みんな。だからね、ぜんぶわかったよ。幾つもの時間で、ほむらちゃん私が私のために頑張ってくれたことも、何もかも

まるで、今までの私のことを、全て知っているような言葉で、彼女は語る……………その言葉の一つ一つは、私の心を癒す真言のように、聞こえていた……………

何度も泣いて、傷だらけになりながら、それでも私のために……………ずっと気付いてあげられなくて、ごめんね……………

ほほに、一筋の涙が零れる……………ああ、謝らなくてもいいよ。全ては、私がしたかったことなのだから……………あなたといつか、共に過ごせる日々の為に、私が勝手に……………あなたと交わした約束を言い訳にして、やってきたことなのだから……………

……………でも……………

今のわたしになったから、本当のあなたを知ることができた。私には、こんなにも大切な友達がいてくれたんだって……だから、嬉しいよ。ほむらちゃん、ありがとう。あなたはわたしの最高の友達だったんだね

「だからって、あなたは、このまま……帰る場所もなくなって、大好きな人たちとも離れ離れになって……こんな場所で独りぼっちで、永遠に取り残されるっていうの？」

そんなの……悲しすぎるよ……それでも、あなたは前向きに言うのよね。大丈夫だよって……

違うよ、一人じゃないよ。みんな、みんないつまでもわたしと一緒にだよ

そう。あなたはいつも、優しい……優しく、他人に心配をかけないようにして……

これからの私はね、いつでも、どこにでもいるの。だから見えなくても、聞こえなくても、わたしはほむらちゃんの傍にいますよ

「まどかは……それでもいいの？ 私はあなたを忘れちゃうの？ まどかのこと、もう二度と、感じることをさえできなくなっちゃうのに？」

そんなの……今までの私と、何も変わらない……今まで、私が味わってきた孤独を、今度は彼女が感じるようになってしまう……

……
それなのに……彼女の優しさは、続いた

ううん。諦めるのは、まだ早いよ

その声が響く中……………私の前に、彼女がいました

春色の微笑みを浮かべる、その姿……………私の、たった一人のともだち……………“ 鹿目まどか ”

「ほむらちゃん」

「まどか……………」

「ほむらちゃんは、こんな場所までついてきてくれたんだもの。だから、元の世界に戻っても、もしかしたら、わたしのことを忘れずにいてくれるかも」

突如現れた彼女は、自分の髪を結んでいた二つのリボンを外して、それを、私の手の上に置いた……………それはまるで、形見に思えてしまった……………でも、決してそれはそんなものじゃない。これは……………再会を誓う、証なのだった

「大丈夫。きっと大丈夫。信じようよ。」

「まどか……………」

「だって魔法少女は……………」

彼女は、その微笑みを絶やすことなく……………そして、こう告げた

「魔法少女は、夢と希望を叶えるんだから。きっと、ほんの少しのなら、本当の奇跡があるかもしれない……………そうでしょう?」

夢と、希望……………ああ、それに想いを抱くときが、再び来るなんて……………私は、彼女のその言葉と共に、新たな力を受け取ったような

気がした……生きていくための、力を……

そして……その言葉と共に、彼女の体は、徐々に薄れていきました

「まどかッ……行かないでッ!!」

ごめんね……わたし、みんなを迎えに行かないと

薄れゆくともだちへと、必死に手を伸ばす……もう二度と、会えない気がしたから……そしたら、その手を包むかのように。確かなものとするように、握りしめてくれるように……

いつかまたもう一度、ほむらちゃんとも逢えるから。それまでは……ほんのちょっとだけ、お別れだね……

そう告げた直後……彼女の姿は見えなくなって……私の目の前が真っ白になって……

「まどかああッ!……!」

そして、私は彼女と、離れ離れに、なりました……

「ああ、なんと……なんと美しい物語だ……この場面、何度見返しても、飽きることが無い。何度も、睨が熱くなる……泣きたい。ああ、なんて麗しい………」

感銘する。ああ、この美しき友情。もはやそれは、愛にすら匹敵し
かねない。なんと、なんと素晴らしき結末………

おそらく、これ以上の結末など、この物語にはあり得ない。ああ、
なんて良い………この“契りの仲立ち人”を、ここまで心躍らせる
絆は、そうそう無い

「だが……ああ、なぜだろうか……“納得がいかん”」

美しい……だが、それは己が望んだ結末ではない……確かにすばらしい結末だが、それで満足できるのかと言われれば、私はそれを否定する

「すまない、この物語の描き手……暗鬱の権化よ。私は、この結末、満足できそうにない」

だから……この物語の続きを、描かせてもらおう

「真に勝手な事だが、許してくれ。私は、彼女たちの結末を、私が納得いくような終わり方にしたいのだ」

だから……恐悦ながら、この物語、“魔法少女まどか マギカ”の……その後を私に描かせていただきます……

「まずは……舞台を整えよう」

その為には、あの世界を“ある型”に嵌めなければならない……女神となった彼女の姿を、私が描く物語に順応できるように……

……

さあ、あの世界の新たな“座”よ……そなたを、我が物語の歯車とさせてもらう

「その座、その太極に咒を付けるなら……」

“ 救済の女神 ”
“ 円環之理 ”

「 真^{まこと}の姿、ここに見たり……………」

さあ、新たな物語を、描こうか……………

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6122z/>

魔法少女まどか マギカ～異なる未来の改変物語～

2011年12月20日16時48分発行